

株式会社 木風

ブレスパイプバンブー 樹木治療及び活用事例



ブレスパイプバンブーとは

ブレスパイプバンブーの働き



放置竹林問題と途上国支援から生まれた

ブレスパイプバンブーはSDGs貢献資材です

ベトナムで製作された竹筒に、竹林整備で発生した竹の炭や腐葉土

などを充填し、保水性と通気性のバランスを図った竹筒型土壌改良材です。

長期※にわたって有効成分と空気を土壌中に供給、菌根菌を増やし、

土壌微生物を活性化させ根の発達を向上、樹木の健全な生育を促します。

※2～3年で自然に分解します

特許登録

日本

第6656665号

特許登録

ベトナム

第37006号



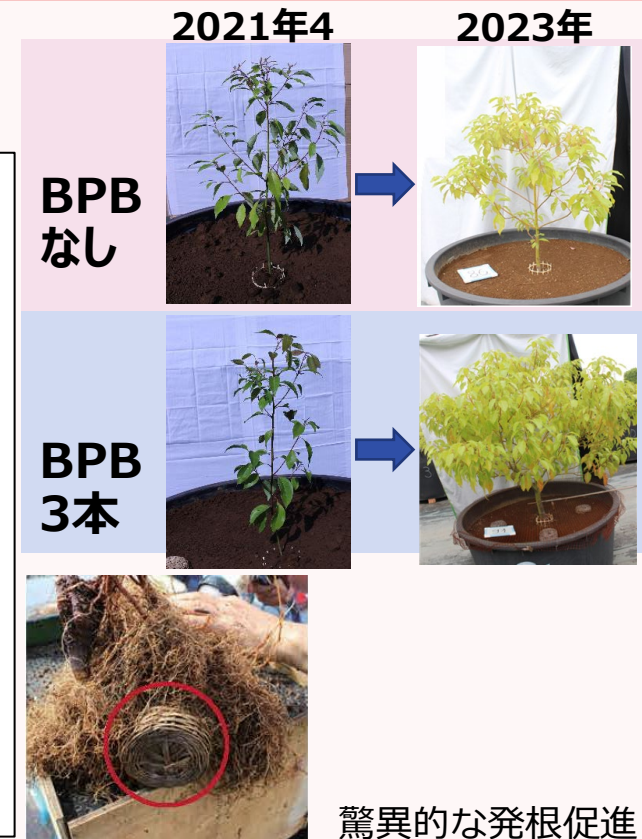
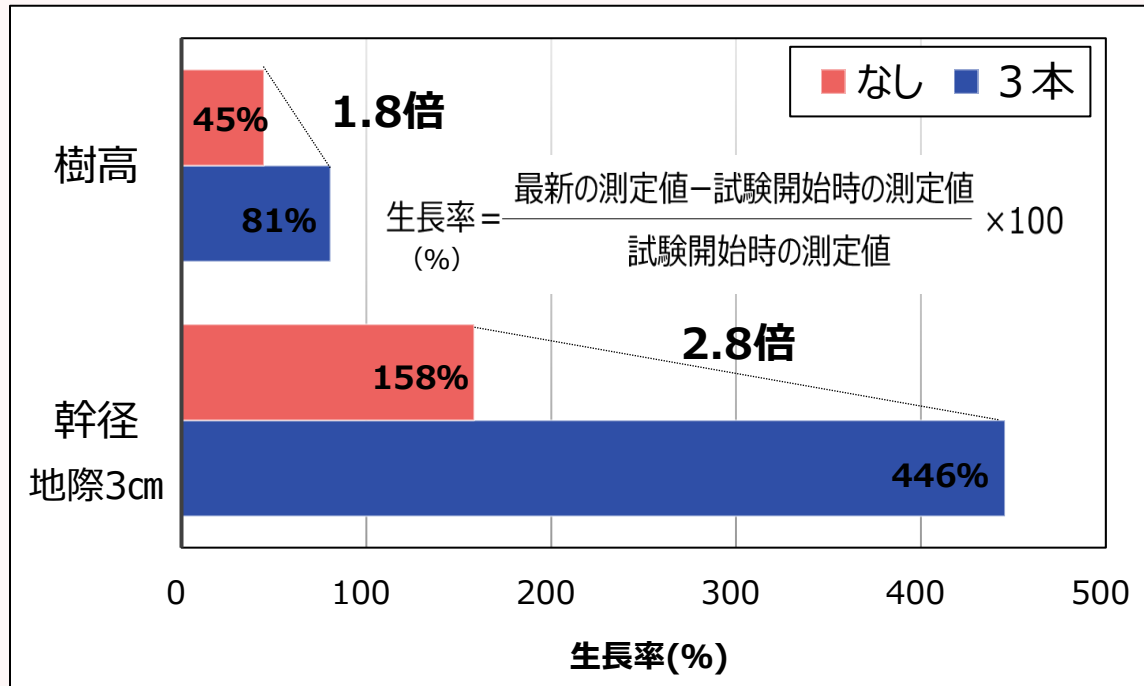
NETIS登録

(共通)

登録番号:SK-230010

ブレスパイプバンブーの効果

26か月経過後の地上部の生長率の違い
(2021年4月～2023年6月)



事例 1 市川八幡神社のクスノキ

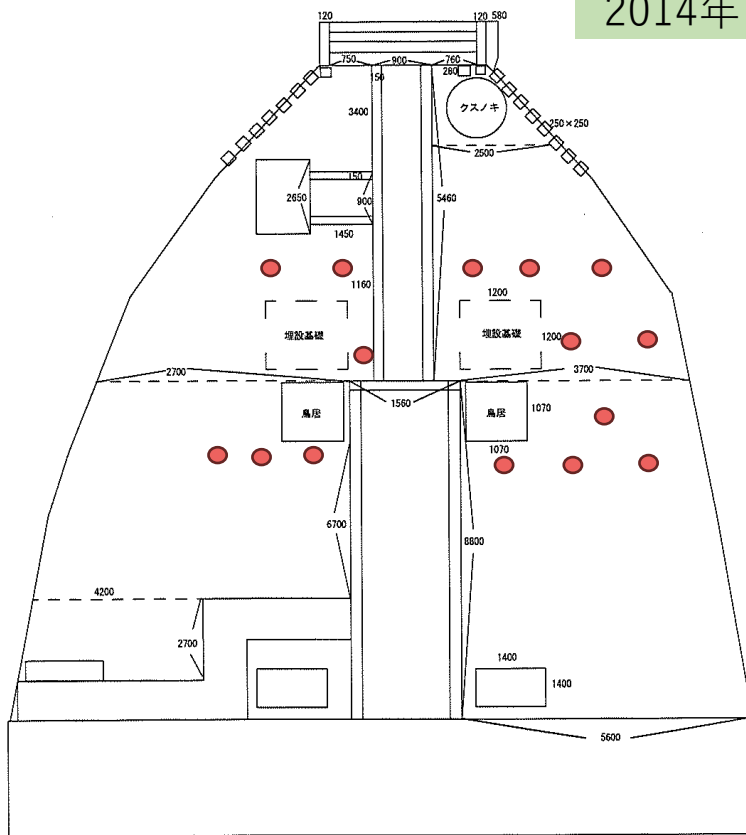
市川八幡神社 クスノキ



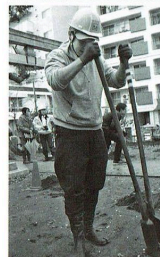
2013年に診断をして、2014年に治療を行い、その後2017年には葉量が100%アップしました。今年の4月に確認したところ、10%ほど減っているようですが、これは葉が茂りすぎて内側の枝が日陰になり枯れたと思われます。代わりに、画面右側の下枝がより成長してマンションに接触寸前でした。枝の伸長量自体は引き続き伸びていて、葉量自体は30%アップしている状態です。成長しすぎて困るとのことで、今年2020年5月に剪定予定です。

事例 1 市川八幡神社のクスノキ

2014年 ブレスパイプ埋設15本



いすかわネット



トル程の穴を掘って木の根に栄養を与えるパイプを設置していきます。1時間半程を予定していた作業でしたが、皆さんの熱心な作業で、ホーリディガー（※写真左）を巧みに使って30分も掛らずに完了。16本のパイプが境内に設置されました。そんな皆様の、精力的な作業をさせていたフレイエバーツリーネットワークの技術スタッフ、福岡ユース（※写真左）さん、地元市川在住で、今年樹木医になったばかり、普段は大洋造船にて樹木の診断、治療を行っているそうです。

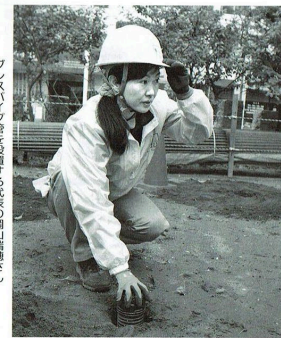
「もともと植物が好きだったんです。東京農業大学を卒業して、樹木医の公開講座を受け、造船業社でも働きながら昨年、正式に樹木医になることができました。まだ樹木医という資格は一般にあまり知られていませんが、エコロジへの関心が年々高くなっている今、都会で人間が自然と共に暮らしていく事を助けていく仕事です。植物は、人の心を癒してくれる存在、都会の中だからこそ、私達の暮らしに必要な物なんじゃないかなと思います。」

自然との共生に関心が高まっている今、樹木医はもっと必要になってくる職業でしょう。今回治療したクスノキは、長生亭すれは30年以上も生きます。葉っぱを擦ると樟脳い、よく良い香りがするんですよ。それはまた、虫を寄せ付けない、いいでもあるんです。まだまだ、

樹木医として仕事を始めたばかりですが、市川にはまだ樹木医は少ないので、街の人と植物が上手に共存できる手助けが出来れば、と精進する毎日です。

次回治療予定
6月30日
見学申し込みはフレイエバーツリーネットワークへメールまたは当日直接現地へお越しください。
030-3467-1917
info@forever-trees.org
http://forever-trees.org/

いすかわネット



ブレスパイプ管を設置する代表の岡田福雄さん

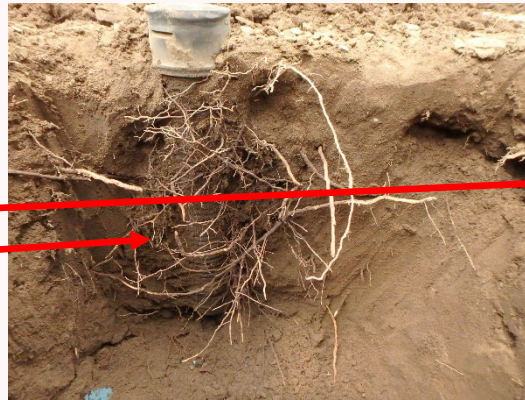
市川北口駅前のロータリーからまっすぐ歩くと、すぐ市川八幡神社の神木であるクスノキが見えてきます。樹齢は約150年。堂々とした佇まいですが、良く見れば道路と石段に挟まれ、少し窮屈そうにも見えます。実際に、昨年枯れた枝が目立ってきたクスノキを心配した氏子さんは造船会社の代表と相談、同社からフレイエバーツリーネットワークに診察が送られました。岡田福雄、一般家庭の木々から巨樹、古木の神木の診断治療を行うNPO法人で、被災地支援プロジェクトとして九十九里浜防潮林

生事業なども手がけています。2013年の3回の診断の後、木の不調は幹内部による腐敗ではなく、根が伸びて、栄養を吸収するのを邪魔している土壌が原因。3メートル程下は海砂のため、土壌は元々固い。要因の一つであるといわれ、3月30日の治療が行われました。

当日は空模様が悪く、集合したスタッフがボランティアの方々が、フレイエバーツリーネットワーク代表理事で樹木医でもある岡田福雄さんの音頭で早々に作業を開始しました。岡田さんが場所を指示し、1メー

市川八幡神社、ご神木の治療

事例 1 市川八幡神社のクスノキ



2020.5発根量調査

砂地で腐葉土分が少なく細根の発生がほとんど無かった個所に、ブレスパイプの通気透水性により細根が集中して発生していました。
無設置個所と比較して約100倍の発根量です。



事例2 船橋市海神幼稚園のケヤキ



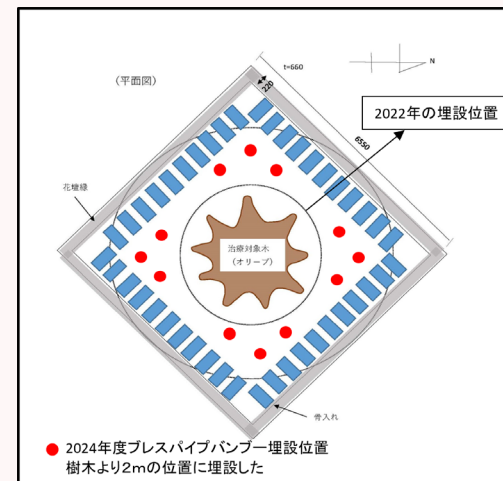
幼稚園の園庭で砂が締固められて通子透水性が悪くなっているケヤキに設置。
3年後、通水性は改善しブレスパイプの設置が無い個所でも発根が促されているのがわかります。

事例3 ハピネスパーク千年オリーブの森

Before 2022



After 2024



2024年に追加埋設を行った際に、多量の発根が前回設置したブレスパイプバンパーの位置より外側に発達しているのが確認できました。非常に旺盛な回復を見せています。



事例4 福島県塙町 県指定天然記念物 向ヶ丘公園のシダレザクラ



事例3 奄美大島のデイゴ

2022 情熱大陸でも紹介！
62本のデイゴの巨木群に埋設しました



デイゴの菌根菌入りブレスパイプバンブー

事例4 山形県M邸キャラボク移植準備



移植のための
環状剥皮作業に最適
で発根促進になる

事例5 北海道余市町ワイナリー畑 他



ブレスパイプバンブーまとめ

- 樹勢回復
- 花付きの改善
- 新規植栽の成長促進
- 移植時の発根促進
- 果樹栽培
- のり面保護
- 狭い植栽帯の通気透水性確保
- 硬い土、水はけの悪い土の改善

様々な用途に使えます💖

